



日の丸を掲げ、ゴールテープを切る岡崎さん。



中国、イギリスの選手に続き、初出場で3位入賞を果たしました。

南極1000キロマラソン
岡崎さんが3位入賞の快挙！

昨年11月に南極大陸で開催された「アイスマラソン」100kmの部に出場し、17時間34分48秒の記録で3位入賞を果たした岡崎健一さん(39・山南地域)が、1月30日、市長を訪問しました。



入賞メダルと完走証を掲げる岡崎さん(写真右)。

「幼いころから南極大陸に憧れを抱いていた」という岡崎さん。「人生は一度きり」、その思いを胸に「アイスマラソン」出場を決意。本番に向けて、沖縄や佐渡島1周など、過酷な練習を重ねてきました。

氷点下20度の極寒のなか、100kmを走破した岡崎さん。「うれしさよりも、ゴールできた安堵感でいっぱい。日本人として、丹波市民としての誇りを感じた」と喜びを話しました。

企業と大学との就職情報交換会

1月21日、神戸ポートピアホテルで、丹波地域にある企業22社の採用担当者と大学など30校の就職担当者が集まり、就職情報交換会(主催:丹波地域人材確保協議会)が行われました。参加者たちは、学生の就職活動の動向、企業が求める人物像、社員育成の取り組みについて、活発に意見を交わしました。



就職情報交換会のようす。企業と大学とのネットワーク構築の場として期待されています。

- リニューアルオープン後初のフェスタを開催 - ライフピアいちじまでアマチュアダンスの祭典

リニューアルされたライフピアいちじ大ホールで、12月7日、アマチュアアーティスト育成支援事業「ダンスフェスタ ACT X III (アクト13)」が行われました。

スポットライトを浴びながら、市内外7組のダンスチームがジャズダンス、クラシックバレエ、ヒップホップなどを披露。会場は、訪れた500人の歓声と熱気に包まれました。



出演した全チームによるエンディングステージのようす。



稲土自治会の会員で構成された稲土劇団。ミニミュージカル「稲土のくまさん」を熱演しました。



人情アマチュア劇団「丹波栗」によるお芝居「貧乏神の宿賃」。家に住みついた貧乏神とそれを追い出そうとする夫婦のやりとりを描いた物語です。

- 「ワークホームもあ」協力者表彰を受賞 - アルミ缶で障がい者の就労支援

アルミ缶の回収リサイクルで障がい者の就労支援を行うNPO法人ひかみボルゴベネッセレ「ワークホームもあ」が、2月2日、アルミ缶リサイクル協会(東京都中央区)から、長年の回収活動の功績が認められ、アルミ缶回収協力者表彰と優秀回収拠点表彰を受賞しました。

同施設では、市内の商業施設や小学校などにアルミ缶の回収拠点を設置。月平均2トンのアルミ缶を引き取り、障がいのある人たちが機械でプレス加工し、出荷しています。藤谷所長は、「今後、年間30トンの回収をめざし、障がい者が安定して就労できる環境づくりに取り組みたい」と話しました。



アルミ缶リサイクル協会事務局(東京都中央区)大嶋部長から感謝状と副賞を授与される「ワークホームもあ」のみなさん。



出演者のみなさん。舞台芸術を通して、豪雨災害を経験したまちに元気を与えようと、市民自らイベントを企画運営しました。

2月1日、ライフピアいちじ大ホールで、市民が「演じ」「体験し」「観賞する」ことで、被災を経験したまちに元気を呼び込もうと、地域の芸術環境づくり事業「演じ良いなう in 丹波」が開催されました。

マジックショーやミニミュージカル、民話お芝居などの4組が出演。手づくりの舞台演出、熱のこもった演技と歌声で観客を魅了しました。



丹波市豪雨災害で大きな被害を受けた岩龍寺(氷上町香良)で開催された恒例の節分祭。

- 岩龍寺 節分祭 - 復興への願いを込めて

昨年8月の丹波市豪雨災害で大きな被害を受けた岩龍寺(氷上町香良)で、2月3日、一日も早い復興を願って節分祭が開かれました。

護摩木に「家内安全」「身体健全」などの願いを込めてお焚き上げをした後、高さ3mの鐘楼門から、今年還暦を迎える足立明典さん(59)と7回目の年男を迎える足立光男さん(83)が、訪れた人々の幸せと寺の早期復興を願って福豆をまきました。